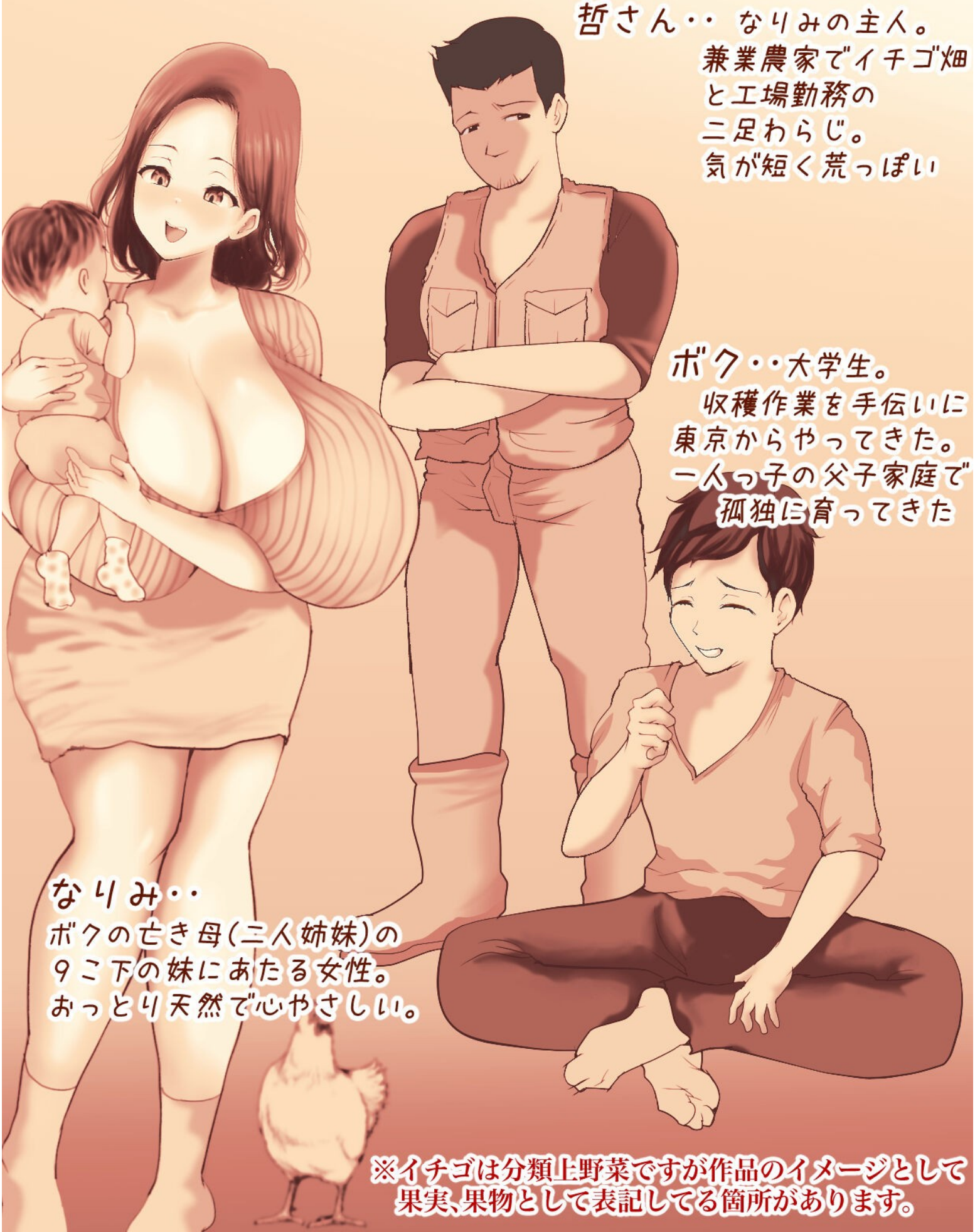

他人妻だけど…
ボクの母になってくれないか
フルカラー
54P
…そして欲望も理性も、
制御不能へ。

【主な登場人物】



哲さん‥ なりみの主人。
兼業農家でイチゴ畑
と工場勤務の
二足わらじ。
気が短く荒っぽい

ボク‥大学生。
収穫作業を手伝いに
東京からやってきた。
一人っ子の父子家庭で
孤独に育ってきた

なりみ‥
ボクの亡き母(二人姉妹)の
9こ下の妹にあたる女性。
おっとり天然で心やさしい。

※イチゴは分類上野菜ですが作品のイメージとして
果実、果物として表記してる箇所があります。

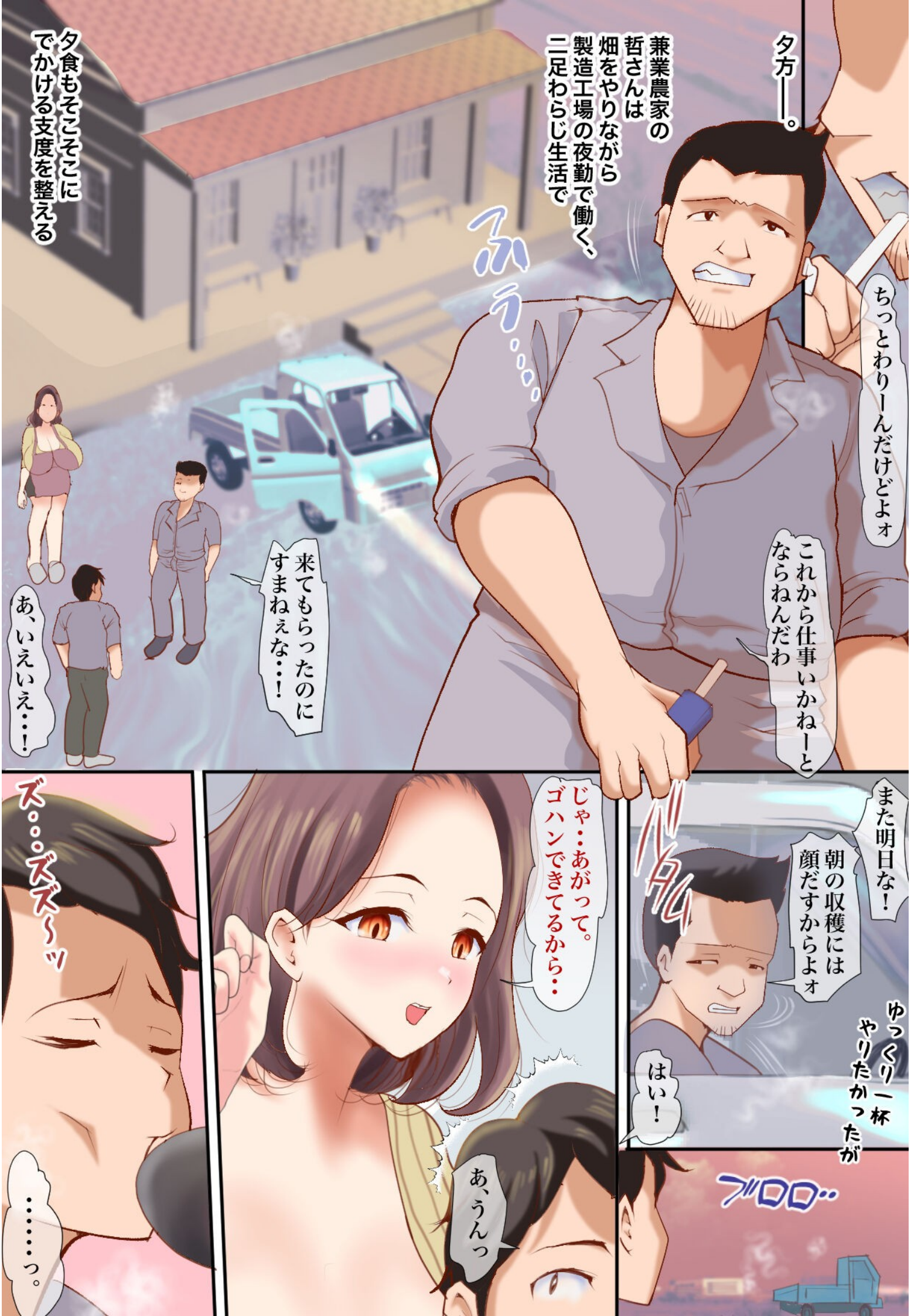

ボクは都山ダイキ
大学の冬休みに入ったこの時期
果物農家の親戚からきまって
バイトの電話がかかってくる―
ケケン
ケケン
ケケン
ケケン
『おう、
なりみも会いたいっ
つってっからよぉ、
今年こそ
顔みせにこいや、
なっ？』
『え？うーん…』
なりみサンも・・
ボクに会いたいと・・？
結局14日程、
住み込みで
収穫作業を
手伝う約束をした―。
友達はゲレンデの
バイトに
東北へ向かう中
ボクの行き先は
畑ってわけだ
東京から数時間
北上すると
親戚が住むT県へ―
チチチ…
やっと
着いたぞ
地平線まで野原と畑が
拡がる地域が広がり
のどかな農村地帯の
古い民家に到着
ホゥ
ホゥ
いやあ～
何年ぶり
だろうか・・
おう！
こっちこっちぃ
!?


いよぉダイキッ！
よう来たのぉ～っ！
まってたぞぉ
哲二サンと
久々に再会を果たす・・
元気で
やっとったかあ？
ど、どうも・・！
哲さんっ
遅くなりましたぁ
・・！
おう、
せっかくなんで
中、のぞいてけ
よっ。
ガラッ
うおお・・！
農家の繁忙期は
どっさりやる事
あるけぇ、
給料だす以上は
キッチリ
働いてくれよなっ
わっははは！


あまずっぱい香りと
ゴロゴロひしめきあう果実
うわ〜
こりゃすごい
・・！
まさに今が出荷最盛期―
イチゴ農家は年収のほとんどを
この時期にたたきだす
ま、電話で
話した通り
主に収穫を
手伝ってもらう
からよォ
おぉーい
なりみ
ちょっと！
あらっ
ダイちゃん！
いらっしゃい
きてくれたのね
え・っ
ぎょぉっ
え・っ
え・っ
え・・えええっ!?


えええええーーーっ??
自分の知ってるなりみさんじゃない!!
もっとホラ髪とか長かったし・・
あ、作業のじゃまで短くしたのよ・・!
すくすく
←before
after→
まるで生きてた頃の
おかんに瓜二つだ・・っ
えっ
まるで・・
・・・・・。
・・なあに、そんなに驚いて・・?
・・・・そうか?
似てるよ似てる!そっくりだよ!!
自分には若き日のかあさんが蘇って立ってるようにしか見えなかった・・!!

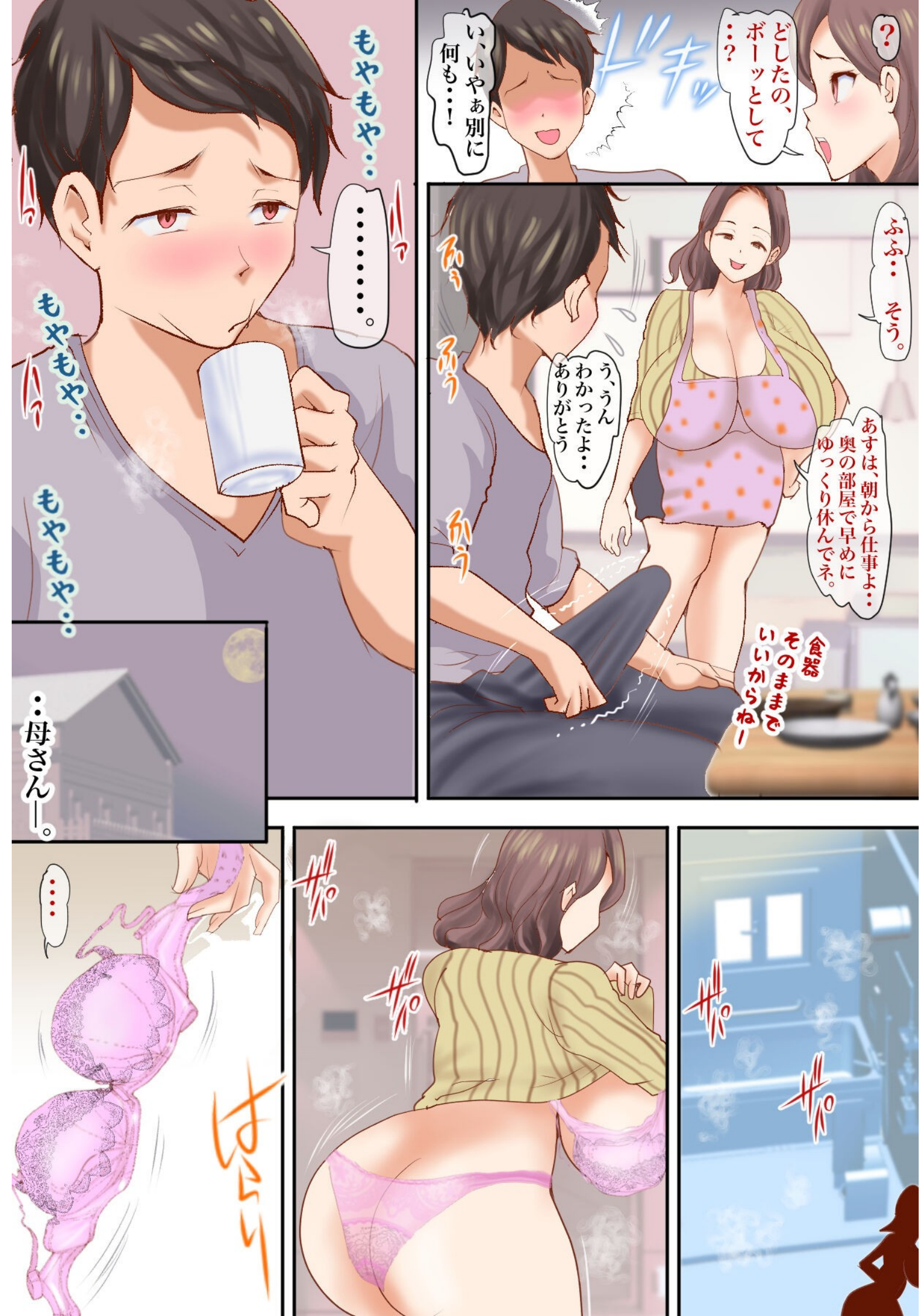

母はボクを産んで
物心ついた頃急逝
したんだ・・
その9歳年下の
妹がなりみサン
・・よく早口で叱られた
記憶がフラッシュバックする
性格はなりみサンのが
控えめで穏やかだけど
そんな似てるかしら・
ま、姉妹だしな
似てるかもしんねーな。
作業の段取りを
説明されるー
うなずきつつも
目で追ってしまう
今日の分は
終わってっから、
あすから頼むわ
おかんとかぶって
みえるのは・・・
自分だけ？
たまたま？
一体いつから
こんな・
奇しくも今月は
母の命日の月でもあり
なにかみえない糸にでも
導かれるようで・・
動揺した・・！

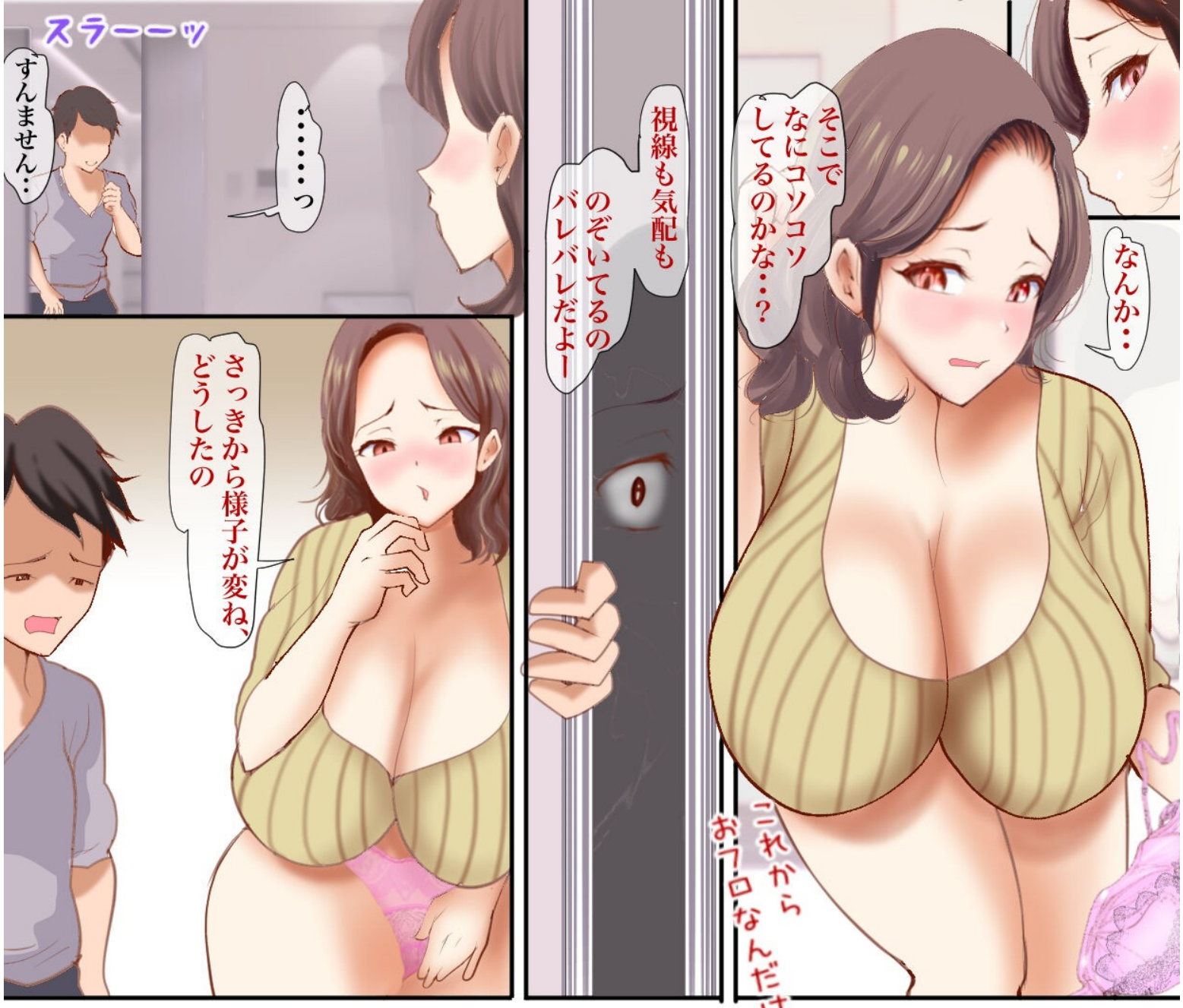

夕方――。
兼業農家の
哲さんは
畑をやりながら
製造工場の夜勤で働く、
二足わらじ生活で
夕食もそこそこに
でかける支度を整える
ちっとわりーんだけどよォ
これから仕事いかねーと
ならねんだわ
ふぅ…
来てもらったのに
すまねぇな…！
あ、いえいえ…！
また明日な！
朝の収穫には
顔だすからよォ
ゆっくり一杯
やりたかったが
はい！
ブロロ…
じゃ・あがって。
ゴハンできてるから・・
あ、うんっ
ズ…ズズ～ッ
……っ。

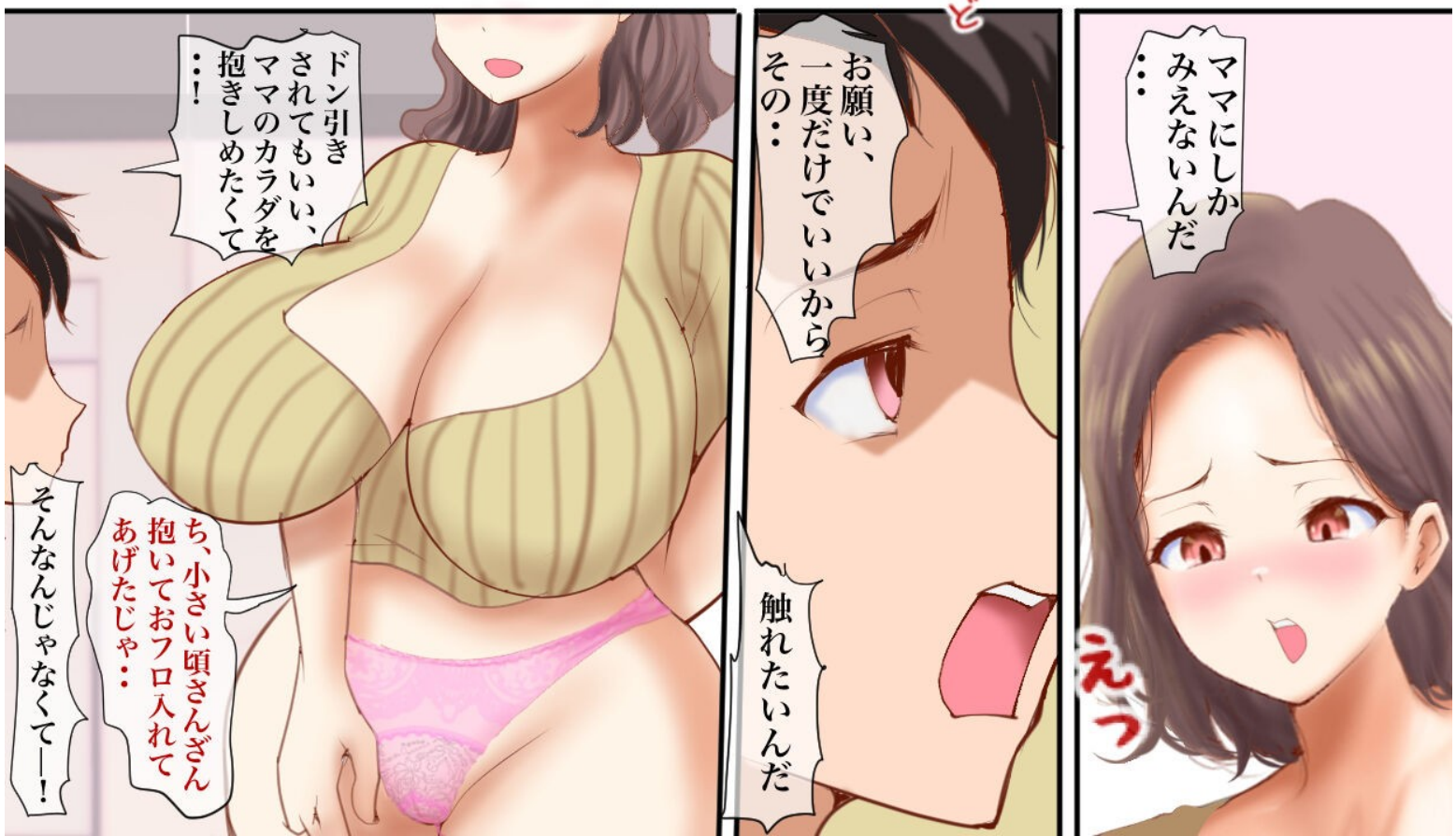

こ・・の味噌汁、
全身にしみる・・!!
うふふ・
お口に合うかしら
・・?
お袋の味・お母さんの味が
ジワジワしみる、
しみこんでゆく―!!
じ〜ん
ふぅ・ふぅぅ〜〜っ・・!
母が居ると、
キッチンに居ると・・
こんなにも
しみわたる手料理が
でてくるのかぁ〜っ・・!!
父子家庭の自分は味気ないインスタント味噌汁
すすって育ってー
キッチンには
誰も居ないし
コンビニ弁当
食べる生活・・
ゴハンもいっぱい
おかわりしてねー
世の中みんな、
当たり前のように
この環境で育ったのか・・
リア充すぎる
くぅ・・
僕だけ損して
生きてきてる・・
・!!


大学や生活の事ー
あたりさわりない
世間話に華を咲かせつつも
ボクはそこに母を感じ
うれしくてたまらなくなる
なつかしくていとおしい・・!
共に過ごした日々を取り戻したくなって
いっきにふきでる理想の母像への承認欲求とー
ママの体温を
感じたい欲求ー!!
みたされたいんだ・・っ!!
みたされたい!
みたされたい!
みたされたい!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
あっ!?
ずるーん
ずるずるずるん


ママにつっこみたい妄想が膨らむ
ああぁ・ママッ!!
ボク・ボクもう、
ガマンできなくて
・・ッ!!
は!…
は!…
は!…
びくっ
か、彼女としなさい
こんな・
お願い!ねっ…?
あぁ
あぁ
あぁ
やっ…!
まずいわ
こんな事・・っ
びくっ
びくっ
びくっ
今までの距離を、
取り戻せる
気がしたー。
ズパン
うぅっ!
うぅっ!!
んぅぅ~~
っっっ!!!!
ピクピクピク
あぁ~~っっ!!
……。
あたたかいママの中に
ねじこめば――!
そうすれば――!!
ズポッ
ズプズプッ
ちょ・・
あっ!あっ!
もやもや・・


？
どしたの、ボーッとして・・？
ドキッ
い、いやぁ別に何も・・！
ふふ・・そう。
あすは、朝から仕事よ・・奥の部屋で早めにゆっくり休んでネ。
う、うんわかったよ・・ありがとう
食器そのままでいいからねー
もやもや・・
・・・・・・・。
もやもや・・
もやもや・・
・・母さんー。
・・・
はらり


なんか・・
そこでなにコソコソしてるのかな・・？
視線も気配ものぞいてるのバレバレだよー
・・・・・っ
スラーーッ
すんません・・
さっきから様子が変ね、どうしたの


これからお風呂なんだけど
ママにしかみえないんだ・・・
えっ
お願い、一度だけでいいからその・・
触れたいんだ
ドン引きされてもいい、ママのカラダを抱きしめたくて・・！
ち、小さい頃さんざん抱いておフロ入れてあげたじゃ・・
そんなんじゃなくて―！


あんっ？
ぷるるん
ぷるるん
ぷるるん
ぷるるん
ああっ
ちょ・・
ビクッ
ビクッ
ダイちゃんっ!?
おさまらないんだ！
ママが素敵すぎて!!
こ、このカラダ
ちょっとだけ・
お願いだよぅ!!
フーッ
フーッ
フーッ
プル
プルプル
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
ぷる
ぷる
ぷるぷる
ちょっとだけ
：
ちょっとだけ！
ね？
ビキッ
・・・っ！
はー…
はー…
はー…
お、お願いだっ
ママっ!!


10分後―
はあ
はあ
はあ


硬いのが
あ、当たって…！
ビンッ
ビンッ
ビンッ
ぢゅうううう
ちゅうちゅう
ひ・いっ
ちょ・
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
も
もう・・
30分後―
レロレロ…
レロレロ…
レロレロ…
れろれろ…
れろれろ…
れろれろ…
ちゅっ♡
ちゅっ♡
は・・あうっ
は・・あぁ・・ッ
はぁ
はぁ
ねえ・・
ねえ・・
誰にも・・
ゆっちゃダメよ・・？
はぁ
はぁ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
あ・・あぁ～っ・・！


あたしを慕ってくる・・！
こんなおおきな息子をもった覚えはないけど
わ、わかってるよママッ・・!!
じゅるるる。
じゅるるる。
じゅるるる。
は・・ああ・・っ!!
彼も母性を欠いて・・
甘えたいのもわかる。
じゅるるる。
じゅるるる。
じゅるるる。
じ、じゃあ今日だけ！
ボクのママになってよ、ね？
お願いだよ!!
・・ママってよんでもいいけど
私・・結婚してるし・・・
じゅぶっ♡
ずぶっ♡
ずぶっ♡
ずぶっ♡
でも・・
ずぶっ♡
・・・・・・・。
こんな・・
こんな事まずいけど・・
ママになって!!
お願い


かわいそうな子・・・
れろれろ…
れろれろ…
れろれろ…
れろれろ…
レロレロ…
こ・・今夜だけよ？
こんな事・・
二人だけの・・秘密だからね
はぁぁ、ママ・・っっ!!
ん・・んっ！
じゅるるっ
じゅるるっ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
たた・・たまんないよママ・・っ!!
・・・主人の顔がちらつくー。
ちょっとだけ、少しだけ・・。
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
アタシのカラダでさみしさが安らぐなら・・・
ボボボクも舐めたいっママの、舐めたいんだッ・・!!
ズルン


は・・あああぁ・・!!
はぁ
はー…
はぁ
はー…
はぁ
はー…
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ママの女性器が露出される・・
いびつなびらびらの中に
チンポをいれる
いやらしい穴が・・!!
しかもちょっとなんかでてる・・!!
れろれろ・・・
くぅ～～っ!!
ぢゅるるっ
ぢゅるるっ
女性器を舐めまわすと
とろとろのおツユが溢れでた
なりみサンも、
まんざらじゃ・・
だって
こんなに・・!
んうっ!
んうっ!
れろれろ…
レロレロ…
んうっ!
んうっ!
ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ


ぐっと距離が縮まる
全部なりみさんがいけないんだ…！
似すぎてるからガマンできなくて…
なりみサンが母そのものに重なって
夢中でママのカラダをむさぼってゆく
ぴちゃ
ぴちゃ
ぴちゃ


こ・ここんなとこにずぷっと挿れたら！
はあ！
ビキビキ
どうなっちゃうんだろう・・ッ!!
はあ！
ビキビキ
い、いい、入れるよッ
はあぁ～っ!!
ビキビキ
入れますからね!!
はあ！
ビキビキ
はあ！
ビキビキ
はあ！
ビクッ
ぐぬぬ・・
んっんぅっ！
くっうぅぅ～～っっ!!
じゅぷっ
ンッ！


はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
あっああ
こんなに
入っちゃって
〜〜っ・・!
入ってくううう
〜〜・・ッ!
ひっ!
ひぃぃ
:っ!
ひ:
あああっ!
ぶーッ
ぶーッ
ぶーッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
は・・あああっ
入ってく・・!!
ぬぷ…
ぬぷ…
ぬぷぷ…
ぬぷ…
す・・ごく
たくましいのが
中までくいこんでくる・・う!


まんこにめりこむ
ギン立ちちんぽをだしいれする
いれたりだしたり
いれたりだしたり
腰を入れてじっくりと
は・あっ
んぅぅっ
いびつな穴が
ウネウネ収縮しながら
締まりついてくる
ん！・・んぅっ！
は・ああ～っ
あっ・・あぁ・・っ！
ち・膣の中
ヌメヌメ濡れて・・
っっ！
ああ！
あ・・ああ！
ああ・・！


柔らかいカラダがずっしりのしかかる
この重みがたまらない・っ!!
ずっと密着していたい・・!!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ん・・♡
ん・・♡
ん・・♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
あ・・ああ・・おまんこに
こんなに入っちゃって・・!!
は!…
は!…
は!…
は!…
は!…
す・ごく
硬くて太いのね・・!
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
あっああ!
ワレメにずっぽりのみこまれるボクのチンポ・・!
あ!
あ!
し、幸せすぎる~~っっ!!
ぷるぷるぷる
ぷるぷるぷる
んっん!
んっん!
フーッ
フーッ
フーッ


ああ！
ああ・つ!!
は・ああ・ッ！
なりみサンに
入ってるんだ・・!!
こんなに繋がっちゃって・・
お、おまんこ・・
おまんこ
きもちいい
〜っっ!!
は・・あぁあ
・・!!
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
ん・・ん♡
ん・・んうっ
んぅんっ
哲さんの奥さんだぞ・・
こんな・・事しちゃって
で、でも
きもちよくて
やめられない・・ッ!!
た・・たまらない
いれごこちだ
・・っ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
くっうぅう〜っ!!


ひ・ひぃッ!!
ふぅ・っ!
ふう・ふうっ・・!!
ぬぷぷ…
な中まで・・ズンズンくるぅ・っ!
ビクンッ
あ、あたってる
ひっひぃっ!
つついてるぅぅ〜っ!
な・ななりみサンのおまんこ・ッ!!
ひぃ!
ひぃ!
んうっ!
すごくウネウネしてて・っ!!
んっんぅっ!
くっうぅぅ〜っ!!


・・合体すればするほど
まんことちんぽが
擦れまくるほど
はぁ…
はぁ…
はぁ…
心拍数があがって
ギンギンに
海綿帯が硬度を増す・・！
ん・・ん！
んっ！
んっんっ！
んっんっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
あぁ
あぁ
ぱんっ♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
ぢゅるるっ
ぢゅるるっ
ぢゅるるっ
ぢゅるるっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
こんな事させてくれるなんて・・・!!
夢中でママのカラダをむさぼってゆく


ああ～っママ・・っ！
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
硬いのが体内に挿入されるとまるで・・わが息子のように
ママぁッ・・!!
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
情が移ってゆく
は！
は！
は！
は！
んっん
んっうぅ
はっああ・・・！
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
不道徳とわかっていながらも・・
不自由な思いをしてきた彼をあたしのカラダで少しでも埋められるなら・・
はぁ
はぁはぁ
ふらちな思いがよぎる
はぁはぁ
ヒクッ
ヒクッ
ヒクッ
ああ、ママぁっ・・!!
フゥッ
フゥッ


も、もう!!
このままずっと
あ!
ビグ
ビグ
ネヒネヒネヒ
しゅぶ
しだいに彼の突きが
子宮をつつくように
あ!
あ!
しゅぶ
ヒズッ
はあ・っ!
激しく求めてくる・・
中にいれていたい!!
おまんこに
いれていたいんだ
・・ッ!!
しゅぶ
しゅぶ
しゅぶ
しゅぶ
しゅぶ
ヒズッ
ヒズッ
ヒズッ


はぁ〜っ
なりみさん!!
夢中になって
突きまくると
ぬくもりある柔らかいカラダ・・
強く抱きしめると
すさんだ心の中が
みるみる
満たされてゆく・・!
なりみさ・・ッ!!
し・・
幸せだっ!
たまらないよ!!
は・・あああ
〜〜っ!!
なりみサンも小刻みに
肩をふるわせ呼吸が荒く
なってくる


んっ！
んっん！
んっん！
んっん！
んっん！
んっ！
ズポ
ズポ
ズポ
ズポ
ズポ
ズポ
ふーー…
ふーー…
ふーー…
ふーー…
ふーー…
ん・んっ！
はあはあッ！
はあはあっ
ちんぽとまんこの相性がきっと・・すっごくいいんだ・・！
はっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
はぁ
はぁ
はぁ
はっ
ビクッビクッ
はあ・・っ！
奥まで入って
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
届いてるぅ・・っ！


突けば突くほどぐちょぐちょのワレメからおツユがしたたる・・！
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
ぷるんっ
ぷるんっ
ぷるんっ


ママも・・
ママもちんぽで
感じてるんじゃ・・？
は…
は…
びくッ
びくッ
びくッ
びくッ
うぅ・・うぅっ
は…
は…
垂れ流すほど
感じてるなんて・・・
とてもゆえない
こ・・んなにおツユが・・！
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
もにゅっ
もにゅっ
・・・・
は・・はやく
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ
すませちゃい
なさい・・！
くちゅっ♡
くちゅっ♡
くちゅっ♡
くちゅっ♡
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
そうゆうのが
やっとだった


あっあん！
はあぁ・・ッ
はぁはぁっ
あっあぁ～っ
う・・ううぅっ！
すごいよ、
ぐちょぐちょだぁ・・っ！
プ分泌する女のおツユ・・
彼を慰めるつもりが
はっはっ！
はあはあッ！
慰められてるようで・・
は、恥ずかしい・・！
はっあぁ～っ!!


夫にはなかった若い男性との行為に
カラダが・・ビクビク反応して・・・！
ズッ
ズッ
ズッ


な・んて激しい突きなの・・!
硬いのが
奥まで侵入してきて
出たり入ったり
ぬきさしされると・・
頭が真っ白になってゆく・・
彼の・・母を求める思いが
ジンジン伝わってきてー!
ビクッ
ビクッ
あぁ
あぁ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
ビクッビクッ
ビクッビクッ
うっ
うっ
うっ
うっうっ
はー!
はー!
はー!


ビクッ
ビクッ
ビクッ
その彼のたくましいのを今、膣で受け止めてるなんて
かつて遊びに来て・・
やすらかな寝顔で
小さくかわいかった彼
すやすや
たん
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ふうッ!!
ふうッ!!
ちょ・・っ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ひっ
ひい
ふうッ!!
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
お・・願いっ
ひい
あっあっあぁ〜〜っっっ!!
は・・ああ
理性を失いそうで・・
耐えきれずとめどもなく
おツユが漏れだす・・!

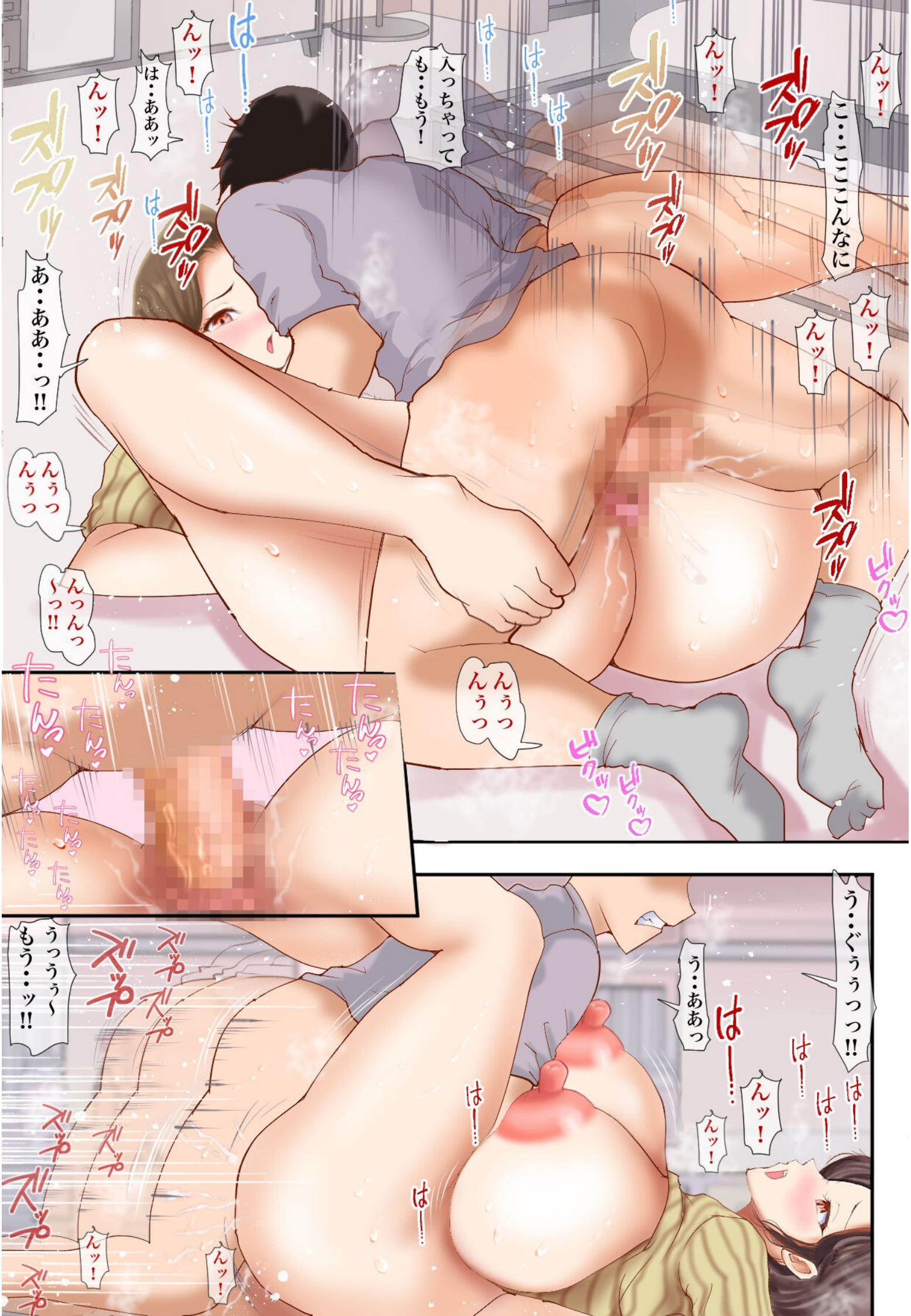

はぁぁぁ〜っ！
ママの、
めちゃくちゃ
きもちいいよッ
・・!!
この時がずっと、
いつまでも・・・
続けばいいのに・っ!!
はんッ
んっんぅ
んぅぅ〜っ！
きっと・射精して、
チンポひきぬいたら
いっきに現実に・・
はッ
他人の奥さんに
戻ってしまうよね!?
そ・れは・・!
だから今！
入れてる今だけ
んっ！
ボクだけの
ママでいて!!
んっ！
んっ！
はッ


い・今だけはボクのママだよ!?
ボクのものなんだ!!
は!…
は!…
は!…
は!…
は!…
Hちゅ…
Hちゅ…
Hちゅ…
びくッ
びくッ
びくッ
誰にも邪魔されず二人だけの空間・・!
まんことちんぽが擦れ合いひわいな音が響く
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
チンポがめりこんでるのが夢のようだ!
まんこの中が熱い・・・!
彼女の体温がじかにちんぽにジンジン浸透してくる・・!
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
んうっ!
んうっ・・!
ママ・・ッ!
マ・・ッ


はっ
はーー…
はっ
はーー…
はっ
はーー…
はっ
はーー…
あ・あん！
あ・あんっ
あっあぁ・・！
んっん
んっん！
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はあッ
はあッ
はあッ
うぐぅぅぅ〜ッ・・!!
おッおまんこにっ・・
キツくはさまってるぅ・・ッ!!


うああ・ととまらない
やめられない！
くっうぅ～～っ!!
このおっぱいもおまんこも
ボクのもの・・！
ママの全てが愛おしくて
のめりこんでゆく
夢中で突きまくった
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
あっ
あっ
あぇ
んうっ！
んんっ！
ん！
ん！
あぁっ!!
あぁっ!!
んッ
んッ
ぱんっ♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥


激しっ・・!!
す・ごっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
あ・ああ〜っっっ!
あ!
あ!
あ!
あ!
あ!
あ!
あぁ
あぁ
あぁ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はー…
はー…
はー…
はー…
はー…
ふうはあ!
ふうはあ!
はッ!
はッ!
はッ!
ズズッ
ズズッ
ズズッ
ズズッ
ズズッ
ズズッ
ねえ ねえ ちょ ちょっともう・・・!
お、おかしくなりそうっ・・!!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
あぁ
あぁ


んッ！
こ・・ここんなに
ズプッ
んッ！
ズプッ
入っちゃっても・・もう！
は！…
は！…
ズプッ
は！…
は！…
んッ！
は・・ああッ
ズプッ
んッ！
ズプッ
は！…
ズプッ
あ・・ああ・・っ!!
んッ！
んッ！
んうっ
んうっ
ビクッ♡
んっんっ
〜っ!!
んうっ
んうっ
ビクッ♡
ビクッ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
う・ぐうっっ!!
う・・ああっ
は！…
は！…
は！…
んッ！
んッ！
は！…
は！…
うっうぅ〜
もう・・ッ!!
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
んッ！
んッ！


あっああ!!
はーー…
はーー…
はーー…
あっあっ
もっもう!!
こみあげてきちゃ
・・っ
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ああっ!?
あっああ!!
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
あっああっ
ぢゅぶっ♡
あ・あっ
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
も・うダメだ
だだだすよママっ!!
ママ!だすよぉっ!!
ちゃ、ちゃんと・・っ
あっああ!!
外にだして・・
ねっ
ビクビク
ビクビクビクッ
あ!あ!あっ!
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
う・・あああぁぁッ・・!!


あっ!?
あっ!あ!
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
あぁ
あぁ
あぁ
あぁ
ああああ〜〜ッッ!!!
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
はあッ!!
はあはあっ!!
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
あ・・ああ・・ッ
んっん!
ビクッ♡
ビクッ♡
ん・・んん!
くぅぅ〜〜っっ!!
ビク
ビク
びくッ
びくッ
びくッ
びくッ
んぅん〜っ!!


そ・外って
ゆったのにぃ
・・っ!!
ビクンッ
ビクンッ
は・・あぁっ・・!!
ビクンッ
ビクンッ
はぁ♡
はぁ♡
う・・ぐぐ
くぅぅ〜っ・・!!
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ご・・めんなさ・・・!!
ハァ♡
ハァ♡
ハァ♡
そ・外にって
ゆったのにぃ
・・・!
ハァ♡
ハァ♡
ハァ♡
ハァ♡
キ・・キキ
キツく
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ズ・・ズズズ・・
くいこんじゃって
っ・・・!!
ハァ♡
ハァ♡
ハァ♡
ハァ♡
ハァ♡
つぅぅ〜〜
ッ!!


は・・あああぁぁぁぁ・・ッ!!
ドオ
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
は〜…
は〜…
は〜…
あ・・ぁんっ!
な・・んて量・・ッ
んもぅ、こんなだされたら・・!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁはぁ
ぜいぜい
・・・・・!
・・・・・っ
んもぉ・・
ね、ねえッ・・!
・・でも・・
スッキリ、できたでしょ・・?
はぁ
はぁはぁ
はぁ
!?
ちっともおさまらないんだ・・ッ!!
え・・っ?
お、おさまらない・・っ!
す・・いません
すいま・・せ・・
うう・・!


ちょ ちょっとねえ・っ!?
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
お、お願いっ・・あと一回だけ・・!ね、いいでしょ!?
ぱんっ
ぱんっ
なっ・・!
あ あんなにだしたでしょまた・・!?
お、おさまらないんだ、まだやりたいないんだ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ


もっと抱きたいんだ、お願いだよ!!
そ・・んなッ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷぷぷ
ハァハァ
ハァハァ
ハァハァ
ハァハァ
ハァハァ
ハァハァ
大量のザーメンをかきわけるように再び硬いのがあたしの中に侵入する・・
ハァハァ
ハァハァ
あ!
あっあ!
あ〜っ!!


と・・とまらないっ!!
射精しても
おさまらない
～ッ!!
そ、そんなっ!
あっ!ああっ!
あっあっ!!
あぐぅぅ～～
っ・・!!
んああママの中!
もっとママの中に!!
硬直棒の硬いぬきさし・・・
まだカラダを求めてくる
あ!
んああ
～～っ!!
あっああ
～っ!!
もう・・っ
もう私は


私は・観念した
も、もう・・
はあはあっ
はあはあっ！
ふう！
ふう！
ふうッ
好きなように
使って
好きなように
だしなさい・っ！
はぁん
はぁ
んぅう～～っ
・・!!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
んっんぅ！
んっんっ！
こうなったら
もう
果てしなく
求めてくるのを
受け止めるしか
・・！
くっうぅう
～～っ!!
ああ
いいんだね
ッ!?
いいんだね
ママッ!!
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ


あ・・ああ・・!!
パンッ
パンッパンッ
パンッ
パンッパンッ
これでいいのかはわからない・・
けど・・
こうするしかなかった
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ほおお・・っ!!
んぁ!!
あ!!
っあぁ~~っ・・!!!
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
んぅッ!!!!
ちょっ・・!
ま、またっ!?
あ・熱いのでてるぅぅ~~っ!!
どぴゅ
どぴゅ
どぴゅ
ビクッビクッ
ビクッビクッ
あっ!あぁ~~っ・・!!

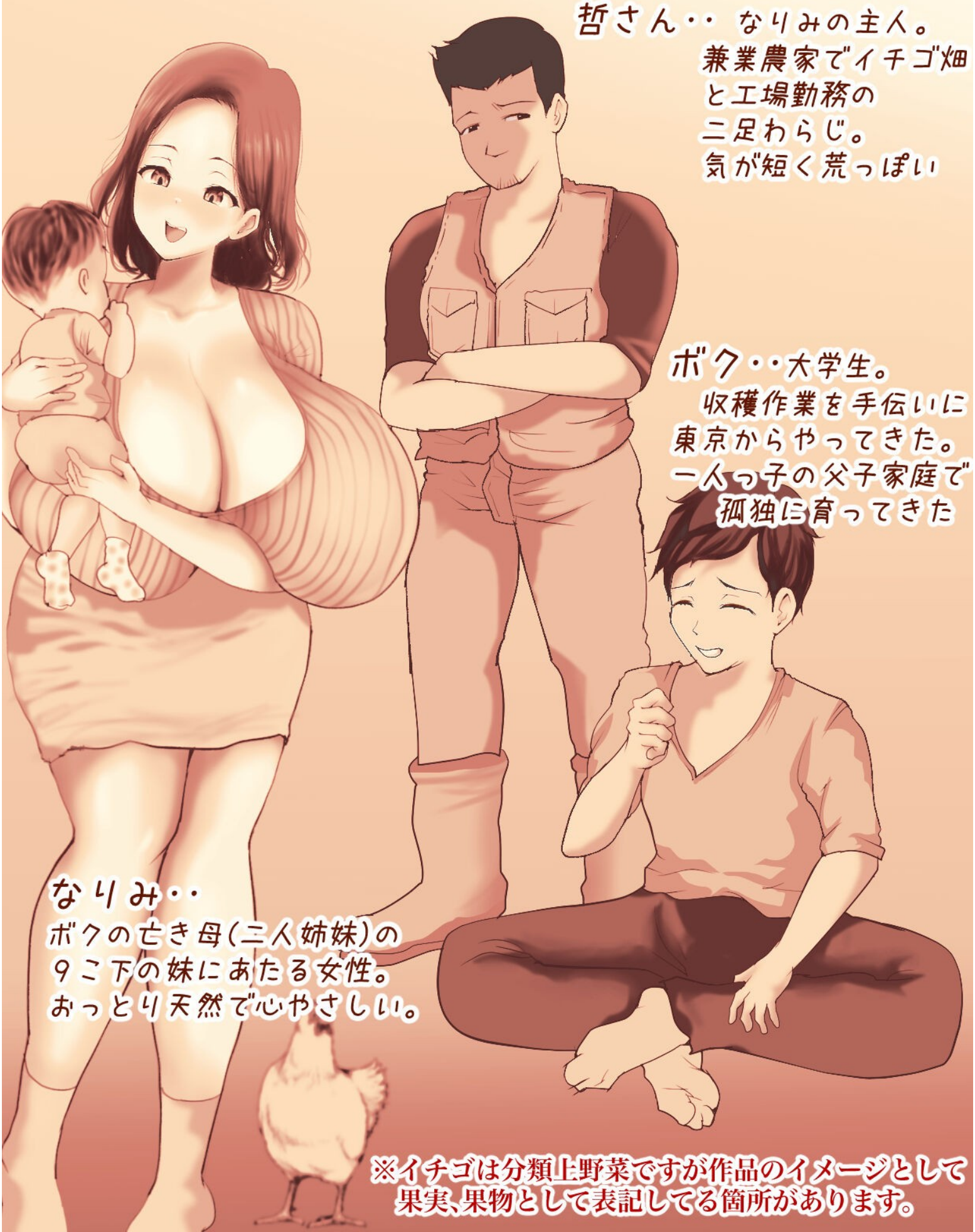

ああああああ・っ!!
ね、ねえ!もうっ
はぁ
はぁ
はぁ
びくッ
その後も
何度も何度も
奥まで強く
突いてくる彼に・・
彼の硬い肉棒に・・
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
自分を見失いそうになる私・・っ!
びくッ
びくッ
びくッ
はぁ
はぁ
お・ねがい
もう・・っ!!
ズブッ
ズブッ
ズブッ


うっ!!
くっうう〜〜っ!!
っあぁーーっ!!
あっぁ!!
また・・っ
ま、またでてる〜〜っ!!
はぁ・・ッ!!
はぁ・あっ!!
ふううっ!!
ふううっ!!
とろぉ…
とろぉ…
とろぉ…
ドクンッ♡
ビクッ♡
ビクビク
びくッ
びくッ
びくッ
ぴゅるる〜♡
ぴゅるる〜♡
ぴゅるる〜♡
中出し
トロォ


その後も―
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
中にだしても
彼はあたしを求めて
まだ母性を欲してきて・・
私はおんなの穴で
うけとめるしかなかった・・
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
今日だけは・
彼のママなのだから
そう自分に
いいきかせた―
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
翌朝―
軽く霧がかった中 朝日が昇る
夜勤明けの哲さんと合流し
農家の1日は朝の収穫から始まる
何事もなかったかのように・・
黙々と手を動かした
でも、昨夜さんざん
つっこんだチンポはジンジンして
おまんこのぬくもりが
感覚として今も残って・・
下半身がどことなくフワフワした


改めてした事の重大さに気づく
バレてないよな・・？
バレたら大変だぞ・・
ドキドキドキ
一夜限りと・・
特別甘えさせてくれた。
でもまだ・・
まだ甘えたい
甘えていたい・
ふきでる欲がしずまらない
こんな感覚になるなんて！
そう思いつつも
母に似た、その
後ろ姿を目で追ってしまう
二週間の滞在期間・・・
禁断の果実に、
溺れそうで怖いー。
to be continued

【主な登場人物】



哲さん‥ なりみの主人。
兼業農家でイチゴ畑
と工場勤務の
二足わらじ。
気が短く荒っぽい

ボク‥大学生。
収穫作業を手伝いに
東京からやってきた。
一人っ子の父子家庭で
孤独に育ってきた

なりみ‥
ボクの亡き母(二人姉妹)の
9こ下の妹にあたる女性。
おっとり天然で心やさしい。

※イチゴは分類上野菜ですが作品のイメージとして
果実、果物として表記してる箇所があります。

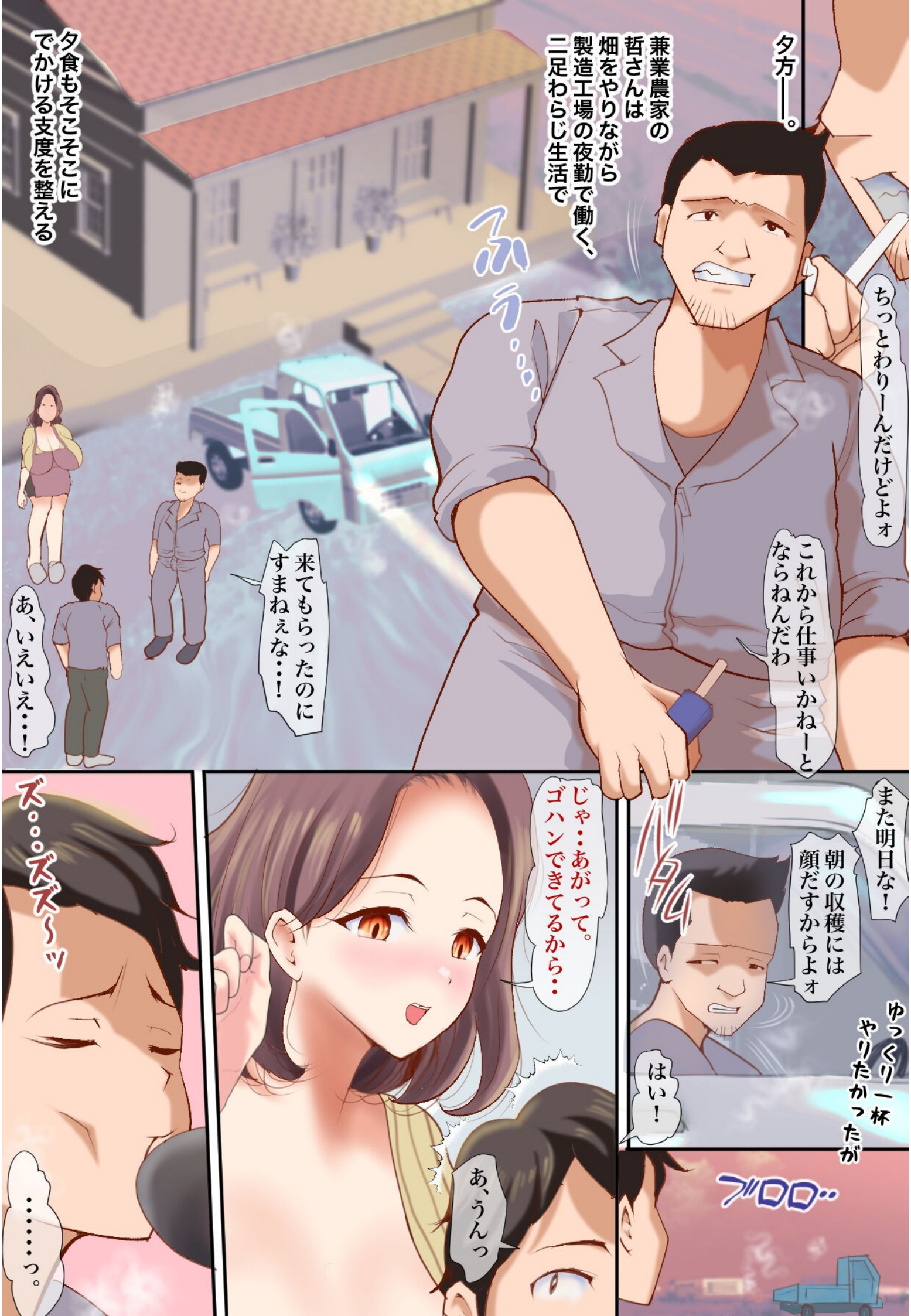

ボクは都山ダイキ
大学の冬休みに入ったこの時期
果物農家の親戚からきまって
バイトの電話がかかってくる―
ケケン
ケケン
ケケン
ケケン
『おう、
なりみも会いたいっ
つってっからよぉ、
今年こそ
顔みせにこいや、
なっ？』
『え？うーん…』
なりみサンも・・
ボクに会いたいと・・？
結局14日程、
住み込みで
収穫作業を
手伝う約束をした―。
友達はゲレンデの
バイトに
東北へ向かう中
ボクの行き先は
畑ってわけだ
東京から数時間
北上すると
親戚が住むT県へ―
チチチ…
やっと
着いたぞ
地平線まで野原と畑が
拡がる地域が広がり
のどかな農村地帯の
古い民家に到着
ホゥ
ホゥ
いやあ～
何年ぶり
だろうか・・
おう！
こっちこっちぃ
!?


いよぉダイキッ！
よう来たのぉ～っ！
まってたぞぉ
哲二サンと
久々に再会を果たす・・
元気で
やっとったかあ？
ど、どうも・・！
哲さんっ
遅くなりましたぁ
・・！
おう、
せっかくなんで
中、のぞいてけ
よっ。
ガラッ
うおお・・！
農家の繁忙期は
どっさりやる事
あるけぇ、
給料だす以上は
キッチリ
働いてくれよなっ
わっははは！


あまずっぱい香りと
ゴロゴロひしめきあう果実
うわ〜
こりゃすごい
・・！
まさに今が出荷最盛期―
イチゴ農家は年収のほとんどを
この時期にたたきだす
ま、電話で
話した通り
主に収穫を
手伝ってもらう
からよォ
おぉーい
なりみ
ちょっと！
あらっ
ダイちゃん！
いらっしゃい
きてくれたのね
え・っ
ぎょぉっ
え・っ
え・っ
え・・えええっ!?


えええええーーーっ??
自分の知ってるなりみさんじゃない!!
もっとホラ髪とか長かったし・・
あ、作業のじゃまで短くしたのよ・・!
すくすく
←before
after→
まるで生きてた頃の
おかんに瓜二つだ・・っ
えっ
まるで・・
・・・・・。
・・なあに、そんなに驚いて・・?
・・・・そうか?
似てるよ似てる!そっくりだよ!!
自分には若き日のかあさんが蘇って立ってるようにしか見えなかった・・!!

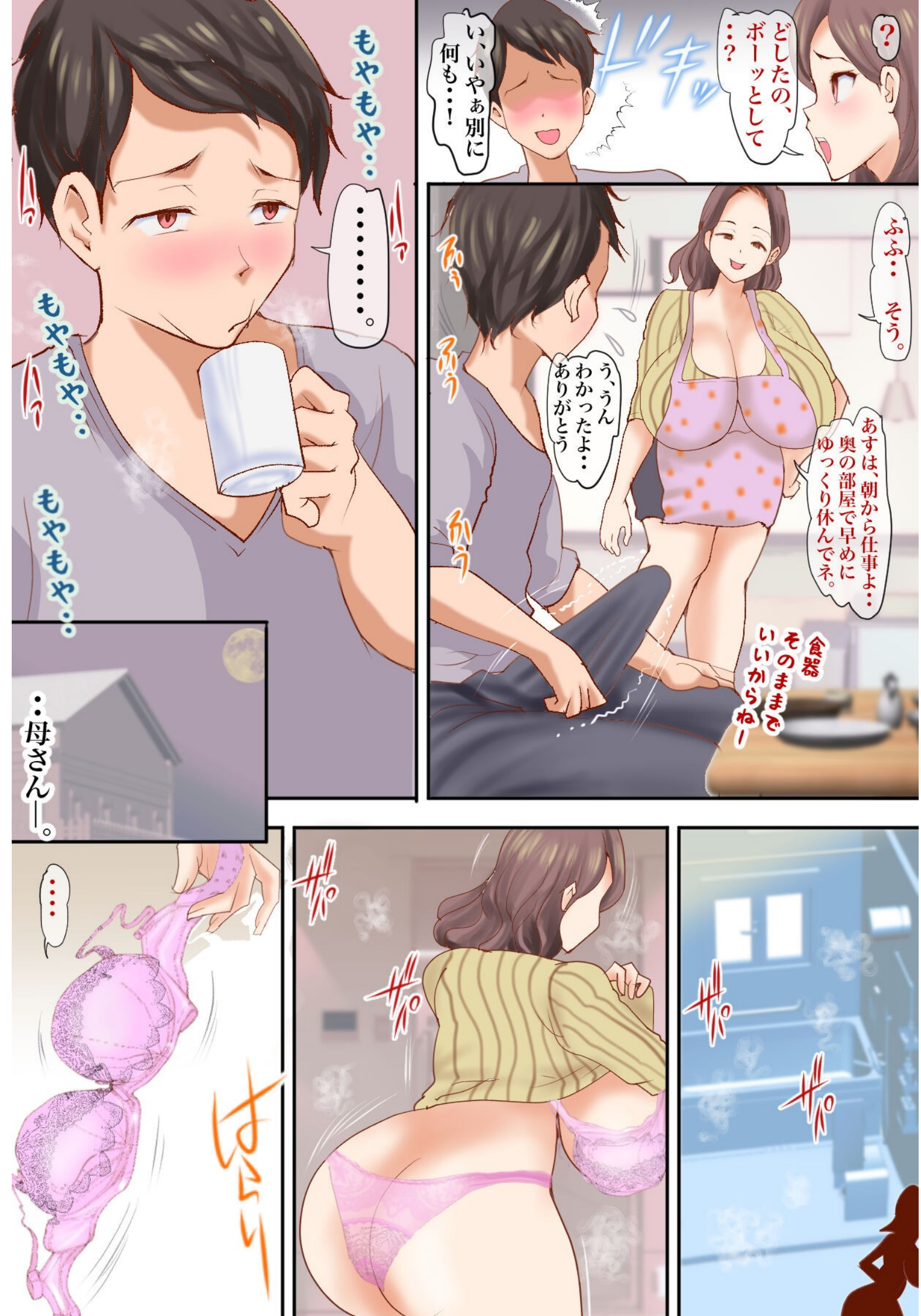

母はボクを産んで
物心ついた頃急逝
したんだ・・
その9歳年下の
妹がなりみサン
・・よく早口で叱られた
記憶がフラッシュバックする
性格はなりみサンのが
控えめで穏やかだけど
そんな似てるかしら・
ま、姉妹だしな
似てるかもしんねーな。
作業の段取りを
説明されるー
うなずきつつも
目で追ってしまう
今日の分は
終わってっから、
あすから頼むわ
おかんとかぶって
みえるのは・・・
自分だけ？
たまたま？
一体いつから
こんな・
奇しくも今月は
母の命日の月でもあり
なにかみえない糸にでも
導かれるようで・・
動揺した・・！

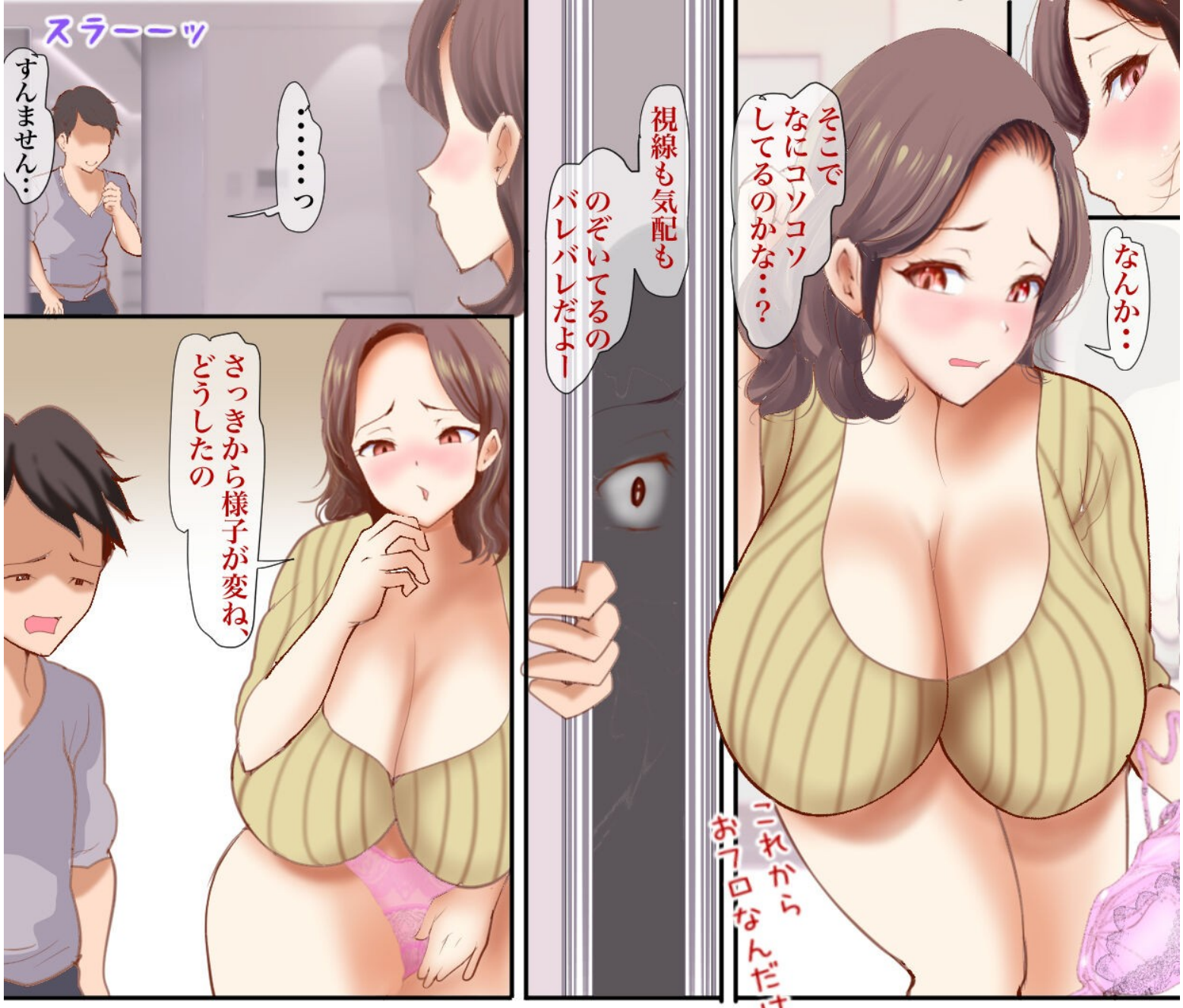

夕方――。
兼業農家の
哲さんは
畑をやりながら
製造工場の夜勤で働く、
二足わらじ生活で
夕食もそこそこに
でかける支度を整える
ちっとわりーんだけどよォ
これから仕事いかねーと
ならねんだわ
ふぅ…
来てもらったのに
すまねぇな…！
あ、いえいえ…！
また明日な！
朝の収穫には
顔だすからよォ
ゆっくり一杯
やりたかったが
はい！
ブロロ…
じゃ・あがって。
ゴハンできてるから・・
あ、うんっ
ズ…ズズ～ッ
……っ。

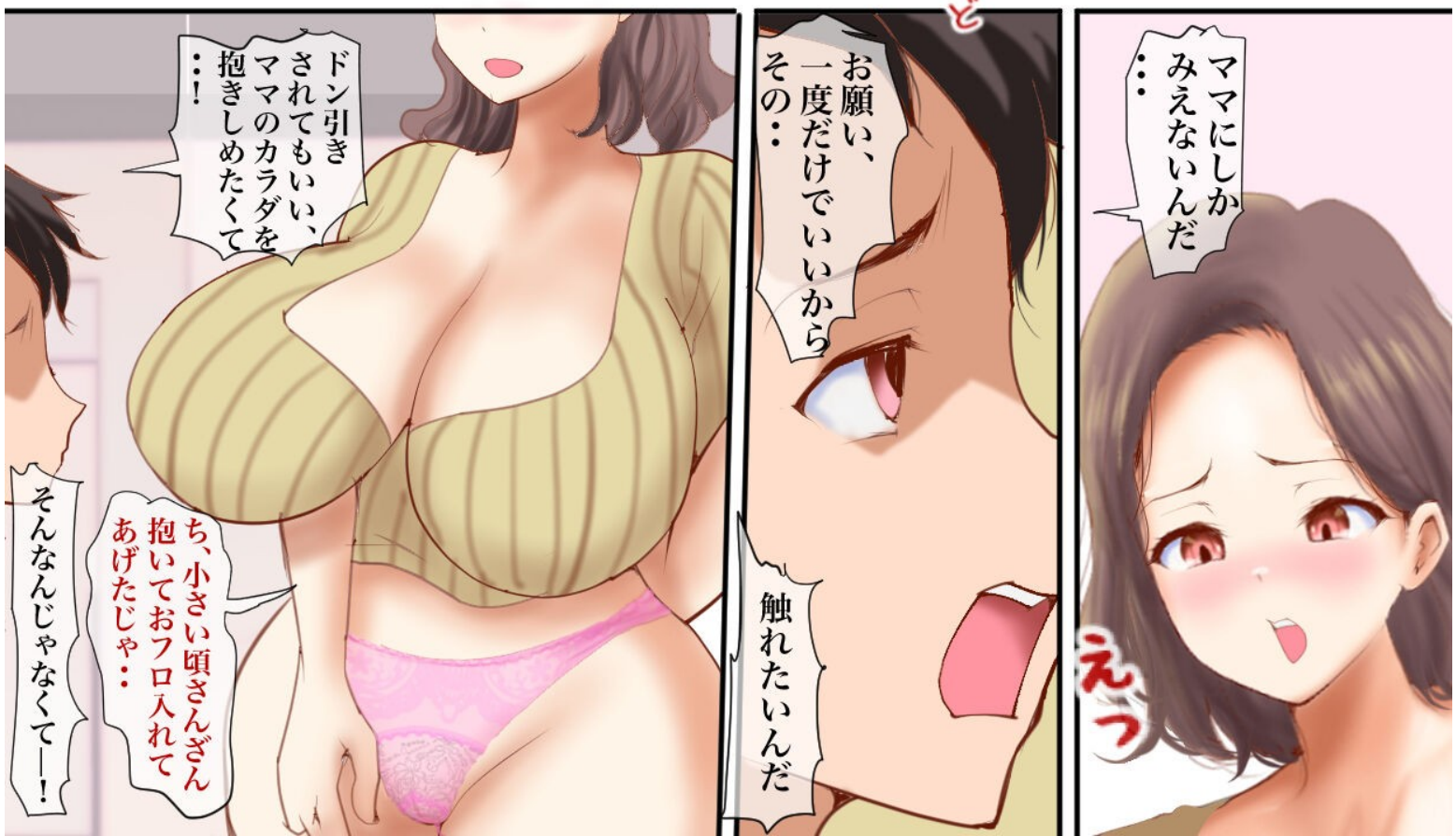

こ・・の味噌汁、
全身にしみる・・!!
うふふ・
お口に合うかしら
・・?
お袋の味・お母さんの味が
ジワジワしみる、
しみこんでゆく―!!
じ〜ん
ふぅ・ふぅぅ〜〜っ・・!
母が居ると、
キッチンに居ると・・
こんなにも
しみわたる手料理が
でてくるのかぁ〜っ・・!!
父子家庭の自分は味気ないインスタント味噌汁
すすって育ってー
キッチンには
誰も居ないし
コンビニ弁当
食べる生活・・
ゴハンもいっぱい
おかわりしてねー
世の中みんな、
当たり前のように
この環境で育ったのか・・
リア充すぎる
くぅ・・
僕だけ損して
生きてきてる・・
・!!


大学や生活の事ー
あたりさわりない
世間話に華を咲かせつつも
ボクはそこに母を感じ
うれしくてたまらなくなる
なつかしくていとおしい・・!
共に過ごした日々を取り戻したくなって
いっきにふきでる理想の母像への承認欲求とー
ママの体温を
感じたい欲求ー!!
みたされたいんだ・・っ!!
みたされたい!
みたされたい!
みたされたい!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
あっ!?
ずるーん
ずるずるずるん


ママにつっこみたい妄想が膨らむ
ああぁ・ママッ!!
ボク・ボクもう、
ガマンできなくて
・・ッ!!
は!…
は!…
は!…
びくっ
か、彼女としなさい
こんな・
お願い!ねっ…?
あぁ
あぁ
あぁ
やっ…!
まずいわ
こんな事・・っ
びくっ
びくっ
びくっ
今までの距離を、
取り戻せる
気がしたー。
ズパン
うぅっ!
うぅっ!!
んぅぅ~~
っっっ!!!!
ピクピクピク
あぁ~~っっ!!
……。
あたたかいママの中に
ねじこめば――!
そうすれば――!!
ズポッ
ズプズプッ
ちょ・・
あっ!あっ!
もやもや・・


？
どしたの、ボーッとして・・？
ドキッ
い、いやぁ別に何も・・！
ふふ・・そう。
あすは、朝から仕事よ・・奥の部屋で早めにゆっくり休んでネ。
う、うんわかったよ・・ありがとう
食器そのままでいいからねー
もやもや・・
・・・・・・・。
もやもや・・
もやもや・・
・・母さんー。
・・・
はらり


なんか・・
そこでなにコソコソしてるのかな・・？
視線も気配ものぞいてるのバレバレだよー
・・・・・っ
スラーーッ
すんません・・
さっきから様子が変ね、どうしたの


これからお風呂なんだけど
ママにしかみえないんだ・・・
えっ
お願い、一度だけでいいからその・・
触れたいんだ
ドン引きされてもいい、ママのカラダを抱きしめたくて・・！
ち、小さい頃さんざん抱いておフロ入れてあげたじゃ・・
そんなんじゃなくて―！


あんっ？
ぷるるん
ぷるるん
ぷるるん
ぷるるん
ああっ
ちょ・・
ビクッ
ビクッ
ダイちゃんっ!?
おさまらないんだ！
ママが素敵すぎて!!
こ、このカラダ
ちょっとだけ・
お願いだよぅ!!
フーッ
フーッ
フーッ
プル
プルプル
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
ぷる
ぷる
ぷるぷる
ちょっとだけ
：
ちょっとだけ！
ね？
ビキッ
・・・っ！
はー…
はー…
はー…
お、お願いだっ
ママっ!!


10分後―
はあ
はあ
はあ


硬いのが
あ、当たって…！
ビンッ
ビンッ
ビンッ
ぢゅうううう
ちゅうちゅう
ひ・いっ
ちょ・
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
も
もう・・
30分後―
レロレロ…
レロレロ…
レロレロ…
れろれろ…
れろれろ…
れろれろ…
ちゅっ♡
ちゅっ♡
は・・あうっ
は・・あぁ・・ッ
はぁ
はぁ
ねえ・・
ねえ・・
誰にも・・
ゆっちゃダメよ・・？
はぁ
はぁ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
あ・・あぁ～っ・・！


あたしを慕ってくる・・！
こんなおおきな息子をもった覚えはないけど
わ、わかってるよママッ・・!!
じゅるるる。
じゅるるる。
じゅるるる。
は・・ああ・・っ!!
彼も母性を欠いて・・
甘えたいのもわかる。
じゅるるる。
じゅるるる。
じゅるるる。
じ、じゃあ今日だけ！
ボクのママになってよ、ね？
お願いだよ!!
・・ママってよんでもいいけど
私・・結婚してるし・・・
じゅぶっ♡
ずぶっ♡
ずぶっ♡
ずぶっ♡
でも・・
ずぶっ♡
・・・・・・・。
こんな・・
こんな事まずいけど・・
ママになって!!
お願い


かわいそうな子・・・
れろれろ…
れろれろ…
れろれろ…
れろれろ…
こ・今夜だけよ？
こんな事・
二人だけの・・秘密だからね
はぁ
ちょっとだけ、少しだけ・・。
・・・主人の顔がちらつくー。
アタシのカラダでさみしさが安らぐなら・・・
ボボボクも舐めたいっママの、舐めたいんだッ・・!!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ズルーン
ん・・んっ！
はぁぁ、ママ・・っっ!!
たた・・たまんないよママ・・っ!!


は・・あああぁ・・!!
はぁ
はぁ
はー…
はぁ
はー…
はぁ
はー…
はぁ
はぁ
はぁ


ぐっと距離が縮まる
なりみサンが母そのものに重なって
夢中でママのカラダをむさぼってゆく
全部なりみさんがいけないんだ…！
似すぎてるからガマンできなくて…
これから二人で一線を越えるその先へ向かえばあともどりは、できない―。
ああぁもう…っ!!
もっももう入れるよ？入れていいよね？
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ぴくッ
はぁ
はぁ
……
ダメとはゆわずいいともゆわず黙るなりみサン


ビキビキ
こ・ここんなとこにずぷっと挿れたら！
はあ！
どうなっちゃうんだろう・・ッ!!
はあ！
はあぁ～っ!!
い、いい、入れるよッ
入れますからね!!
はあ！
はあ！
はあ！
ぐぬぬ・・
ぐっ・・
んっんぅっ！
くっうぅぅ～～っっ!!
じゅぷっ
ンッ！


はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
あっああ
こんなに
入っちゃって
〜〜っ・・!
入ってくうううう
〜〜・・ッ!
ひっ!
ひぃぃ
:っ!
ひ:
あああっ!
ぶーッ
ぶーッ
ぶーッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
は・・あああっ
入ってく・・!!
ぬぷ…
ぬぷ…
ぬぷ…
ぬぷぷ…
す・ごく
たくましいのが
中までくいこんでくる・・う!


まんこにめりこむ
ギン立ちちんぽをだしいれする
いれたりだしたり
いれたりだしたり
腰を入れてじっくりと
は・あっ
んぅぅっ
いびつな穴が
ウネウネ収縮しながら
締まりついてくる
ん！・・んぅっ！
ンッ
ああ！
あ・・ああ！
ンッ
あぁ・・！
は・・あぁ～っ
あっ・・あぁ・・っ！
ち・膣の中
ヌメヌメ濡れて・・
っっ！
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ


柔らかいカラダがずっしりのしかかる
この重みがたまらない・っ!!
ずっと密着していたい・・!!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ん・・♡
ん・・♡
ん・・♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
あ・・ああ・・おまんこに
こんなに入っちゃって・・!!
は!…
は!…
は!…
は!…
は!…
す・ごく
硬くて太いのね・・!
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
あっああ!
ワレメにずっぽりのみこまれるボクのチンポ・・!
あ!
あ!
し、幸せすぎる~~っっ!!
ぷるぷるぷる
ぷるぷるぷる
んっん!
んっん!
フーッ
フーッ
フーッ


ああ！
ああ・つ!!
は・ああ・ッ！
なりみサンに
入ってるんだ・・!!
こんなに繋がっちゃって・・
お、おまんこ・・
おまんこ
きもちいい
〜っっ!!
は・・あぁあ
・・!!
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
哲さんの奥さんだぞ・・
こんな・事しちゃって
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
ん・・ん♡
ん・・んうっ
んぅんっ
た・・たまらない
いれごこちだ
・・っ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
で、でも
きもちよくて
やめられない・・ッ!!
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
くっうぅう〜っ!!


ひ・ひぃッ!!
ふぅ・っ!
ふう・ふうっ・・!!
ぬぷぷ…
ぬぷ…
ぬぷぷ…
ぬぷ…
ビクンッ
な中まで・・ズンズンくるぅ・っ!
ひっひぃっ!
あ、あたってる
つついてるぅぅ〜っ!
な・ななりみサンのおまんこ・・ッ!!
ひぃ!
ひぃ!
すごくウネウネしてて・・っ!!
んうっ!
んっんぅっ!
くっうぅぅ〜っ!!


…合体すればするほど
まんことちんぽが
擦れまくるほど
はぁ…
はぁ…
ん…ん！
心拍数があがって
ギンギンに
海綿帯が硬度を増す…！
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
あぁ
あぁ
んっ！
ぱんっ♥
んっんっ！
ぱんっ♥
ビクッ
ビクッ
ぱんっ♥
ぱんっ♥
んっんっ
ビクッ
ビクッ
ぢゅるるる
ぢゅるるる
ぢゅるるる
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
こんな事させてくれるなんて…!!
夢中でママのカラダをむさぼってゆく


ああ～っママ・・っ！
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
硬いのが体内に挿入されるとまるで・・わが息子のように
ママぁッ・・!!
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
情が移ってゆく
はっ
はっ
はっ
はっ
んっんっ
はっああ・・・!
くちゅっ
んっうぅ、
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
不道徳とわかっていながらも・・
不自由な思いをしてきた彼をあたしのカラダで少しでも埋められるなら・・
はぁ
はぁ
はぁ
ふらちな思いがよぎる
はぁはぁ
くちゅ・・・
くちゅ・・・
くちゅ・・・
ああ、ママぁっ・・!!
フゥッ
フゥッ


も、もう!!
このままずっと
ビグ
あ!
ビグ
ネュネュネュ
中にいれていたい!!
おまんこに
いれていたいんだ
・・ッ!!
じゅぶ
じゅぶ
じゅぶ
じゅぶ
じゅぶ
じゅぶ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
は・・うっ
ちょ・・!
はぁ
はぁ
はぁ
・・と、とにかく今日は
甘えて・・いいから
ひ・・ッ
ひっ!
あ!
しだいに彼の突きが
子宮をつつくように
あ!
じゅぶ
じゅぶ
ズッ
ズッ
ズッ
はあ・っ!
激しく求めてくる・・
ガクッ
ガクッ
ガクッ
あなたのママで・・
いてあげる・・から


はぁ〜っ
なりみさん!!
んっ
は!…
は!…
は!…
は!…
夢中になって
突きまくると
んぅっ
なりみさ・・ッ!!
ぬくもりある柔らかいカラダ・・
強く抱きしめると
すさんだ心の中が
みるみる
満たされてゆく・・!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡


んっ！
んっん！
んっん！
んっん！
んっん！
んっ！
ズポ
ズポ
ズポ


突けば突くほどぐちょぐちょのワレメからおツユがしたたる・・！
はッ
はッ
はッ
ぷんっ
ぷんっ
ぷんっ
はッ
はッ
きっと・・きっとすごく感じてるんだ・・っ！
た、たまらないっ・・!!
ブポブポブポブポブポ
ずっと入れていたい!!
はーーミ
はぁーーミ
はーーミ
ハァ
ハァ
ああ、ママッ・・！
はぁ
はぁ
はぁ
ボクのママっ・・!!
トオミ
トオミ
ママの存在・・ぬくもりを感じるーー!
ハァ
ハァ
ハァ


ママも・・
ママもちんぽで
感じてるんじゃ・・？
は…
は…
びくッ
びくッ
びくッ
こ・・んなにおツユが・・！
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ
う
う・・うぅっ
は…
は…
垂れ流すほど
感じてるなんて・・・
とてもゆえない
七七七
七七七
・・・・
は・・はやく
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ
すませちゃい
なさい・・！
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
そうゆうのが
やっとだった
くちゅっ♡
くちゅっ♡
くちゅっ♡
くちゅっ♡


あっあん！
はあぁ・ッ
はぁはぁっ
あっあぁ～っ
う・・ううぅっ！
すごいよ、
ぐちょぐちょだぁ・っ！
パンッ
プルプル
分泌する女のおツユ・
彼を慰めるつもりが
はっはっ！
はあはあッ！
はぁ
はぁ
はぁ
はッ
はッ
はッ
慰められてるようで・・
は、恥ずかしい・・！
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
はっああ～っ!!


夫にはなかった若い男性との行為に
カラダが・・ビクビク反応して・・・！
こ・・んなの・・
口が裂けても
・・・！
声を震わせ快感に
必死で耐えたー
ズッ
ズッ
ズッ


な・んて激しい突きなの・・!
硬いのが
奥まで侵入してきて
出たり入ったり
ぬきさしされると・・
頭が真っ白になってゆく・・
彼の・・母を求める思いが
ジンジン伝わってきてー!
ビクッ
ビクッ
あぁ
あぁ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
ビクッビクッ
うッ
うっ
はー!・・
はー!・・
はー!・・
ビクッビクッ
うっうっ
いぁ
いぁ


ビクッ
ビクッ
ビクッ
かつて遊びに来て・・
やすらかな寝顔で
小さくかわいかった彼
その彼の
たくましいのを今、
膣で受け止めてるなんて
すやすや
たん♡
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
ふぅッ!!
ふぅッ!!
ちょ・・っ
ひっ
ひぃ
ふぅッ!!
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
お・・願いっ
ひぃ
理性を失いそうで・・
耐えきれずとめどもなく
おツユが漏れだす・・!
は・・ああ
あっあっあぁ
〜〜っっっ!!

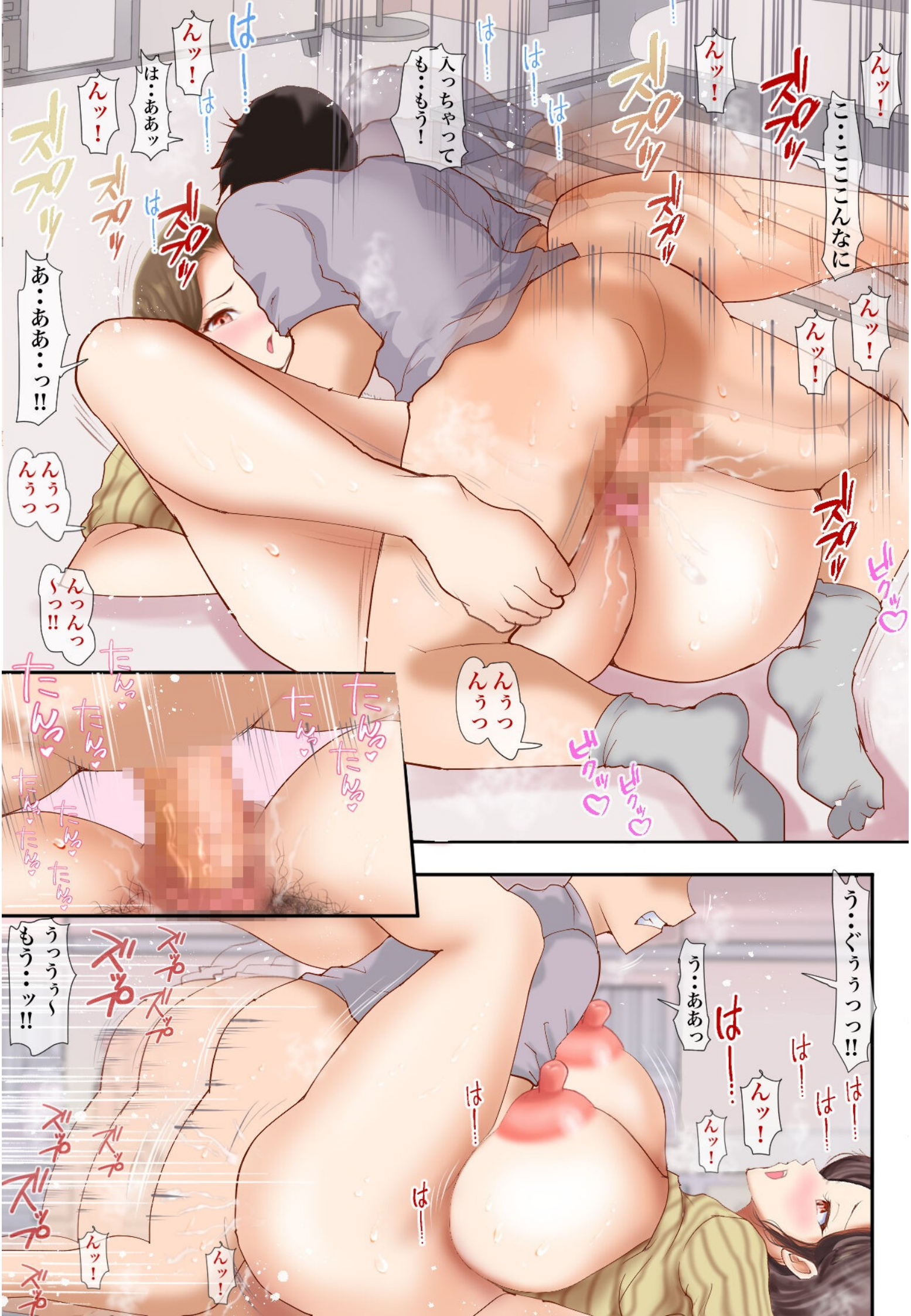

はぁぁぁ〜っ！
ママの、
めちゃくちゃ
きもちいいよッ
・・!!
この時がずっと、
いつまでも・・・
続けばいいのに・っ!!
はんッ
んっんぅ
んぅぅ〜っ！
きっと・射精して、
チンポひきぬいたら
いっきに現実に・・
はッ
他人の奥さんに
戻ってしまうよね!?
そ・れは・・!
だから今！
入れてる今だけ
んっ！
ボクだけの
ママでいて!!
んっ！
んっ！
はッ


い・今だけはボクのママだよ!?
ボクのものなんだ!!
は!…
Hちゅ…
びくッ
誰にも邪魔されず二人だけの空間・・!
まんことちんぽが擦れ合いひわいな音が響く
はぁ はぁ
ズプッ
チンポがめりこんでるのが夢のようだ!
まんこの中が熱い・・・!
彼女の体温がじかにちんぽにジンジン浸透してくる・・!
くちゅっ
ビクッ♡
んうっ!
んうっ・・!
ママ・・ッ!
マ・・ッ


はっ
はーー…
はっ
はーー…
はっ
はーー…
はっ
はーー…ん
あ・あん！
あ・あんっ
あっあぁ・・！
んっん
んっん！
はぁ
はぁ
はぁ
はあッ
はあッ
はあッ
うぐぅぅぅ〜ッ・・!!
おッおまんこにっ・・
キツくはさまってるゥ・・ッ!!
はぁはぁはぁはぁはぁはぁはぁ


うああ・ととまらない
やめられない！
くっうぅ～～っ!!
このおっぱいもおまんこも
ボクのもの・・！
ママの全てが愛おしくて
のめりこんでゆく
夢中で突きまくった
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
あっ
あっ
あぁ
んうっ！
んんっ！
ん！
ん！
あぁっ!!
あぁっ!!
んッ
んッ
ぱんっ♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥


激しっ・・!!
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
す・ご
ガクッ
ガクッ
あ・ああ〜っっっ!
あ!
あ!
あ!
あ!
あ!
あぁ
あぁ
あぁ
はッ
はッ
はッ
はッ
はー…
はー…
はー…
ふうはあ!
スリスリ
スリスリ
スリスリ
はッ!
はッ!
はー…
はー…
ふうはあ!
ね ねえ ちょ ちょっともう・・!
お、おかしくなりそうっ・・!!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
あぁ


んッ！
こ・・ここんなに
ズプッ
んッ！
ズプッ
入っちゃっても・・もう！
は！…
は！…
ズプッ
は！…
は！…
んッ！
は・・ああッ
ズプッ
んッ！
ズプッ
は！…
ズプッ
あ・・ああ・・っ!!
んッ！
んッ！
んうっ
んうっ
ビクッ♡
んっんっ
〜っ!!
んうっ
んうっ
ビクッ♡
ビクッ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
う・ぐうっっ!!
う・・ああっ
は！…
は！…
は！…
んッ！
んッ！
は！…
は！…
うっうぅ〜
もう・・ッ!!
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
んッ！
んッ！


あっああ!!
はー…
はー…
はー…
あっあっ
もっもう!!
こみあげてきちゃ
・・っ
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ああっ!?
あっああ!!
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
あっああっ
ぢゅぶっ♡
あ・あっ
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
も・うダメだ
だだだすよママっ!!
ママ!だすよぉっ!!
ちゃ、ちゃんと・・っ
あっああ!!
外にだして・・
ねっ
ビクビク
ビクビクビクッ
あ!あ!あっ!
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
う・・あああぁぁッ・・!!


あっ!?
あっ!あ!
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
あぁ
あぁ
あぁ
あぁ
ドピュ
ドピュ
ドピュ
ドピュ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
あぁあぁ〜〜ッッ!!!
はあッ!!
はあはあっ!!
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
あ・・ああ・・ッ
んっん!
ビクン♡
ビクン♡
ん・・んん!
くぅぅ〜〜っっ!!
ビク♡
ビク♡
びくッ
びくッ
びくッ
びくッ
んぅん〜っ!!


そ・外って
ゆったのにぃ
・・っ!!
は・・あぁっ・・!!
う・・ぐぐ
くぅぅ〜っ・・!!
ご・・めんなさ・・・!!
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
はぁ〜
はぁ〜
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
そ・外って
ゆったのにぃ
・・!
キ・キキ
キツく
ズ・ズズズ・・
くいこんじゃって
っ・・・!!
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
つぅぅ〜〜
ッ!!


は・・あああぁぁぁぁ・・ッ!!
ドオ
ここ
は〜…
は〜…
は〜…
あ・・ぁんっ!
な・・んて量・・ッ
んもぅ、こんなだされたら・・!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
す・・いません
すいま・・せ・・
うう・・!
はぁはぁ
ぜいぜい
・・・・・!
・・・・・っ
んもぉ・・
・・でも・・
スッキリ、できたでしょ・・?
はぁ
はぁはぁ
はぁ
ね、ねえッ・・!
!?
お、おさまらない・・っ!
ちっともおさまらないんだ・・ッ!!
え・・っ?




もっと抱きたいんだ、お願いだよ!!
そ・・んなッ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ


そ、そんなっ！
あっ！ああっ！
と・とまらないっ!!
射精しても
おさまらない
～ッ!!
あっあっ!!
あぐぅぅ～～
っ・・!!
んああママの中！
もっとママの中に!!
硬直棒の硬いぬきさし・・・
まだカラダを求めてくる
んああ
～～っ!!
あっあ
～っ!!
もう・・っ
もう私は


私は・観念した
も、もう・・
はあはあっ
はあはあっ！
ふう！
ふう！
ふうッ
好きなように
使って
好きなように
だしなさい・っ！
はぁん
はぁ
んぅう～～っ
・・!!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
んっんぅ！
んっんっ！
こうなったら
もう
果てしなく
求めてくるのを
受け止めるしか
・・！
くっうぅう
～～っ!!
ああ
いいんだね
ッ!?
いいんだね
ママッ!!
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ
ﾊｱ


あ・・ああ・・!!
パンッ
パンッパンッ
パンッ
パンッ
パンッ
これでいいのかはわからない・・
けど・・
こうするしかなかった
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ほおお・・っ!!
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
んぅッ!!!!
ちょっ・・!
ま、またっ!?
あ・熱いのでてるぅぅ~っ!!
あっ!ああ~っ・・!!
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
あ!!
んあ!!
っああ~~っ・・!!!


ああああああ・っ!!
ね、ねえ!もうっ
はぁ
はぁ
はぁ
びくッ
その後も
何度も何度も
奥まで強く
突いてくる彼に・・
彼の硬い肉棒に・・
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
自分を見失いそうになる私・・っ!
びくッ
びくッ
びくッ
はぁ
はぁ
お・ねがい
もう・・っ!!
ズプッ
ズプッ
ズプッ


ドクンッ♡
うっ!!
ドクンッ♡
つあぁーーっ!!
ドクンッ♡
くっうう〜〜っ!!
ビクッ♡
あっぁ!!
また・・っ
ビクッ♡
ま、またでてる〜〜っ!!
ビクッ♡
ビクッ♡
ドクンッ♡
はぁ・・ッ!!
ドクンッ♡
びゅるるっ♡
びゅるるっ♡
びゅるるっ♡
ふううっ!!
びくっ
びくっ
びくっ
はぁ・あっ!!
とろぉ・・♡
とろぉ・・♡
とろぉ・・♡
ふううっ!!


その後も―
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
中にだしても
彼はあたしを求めて
まだ母性を欲してきて・・
パンッ
パンッ
私はおんなの穴で
うけとめるしかなかった・・
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
今日だけは・
彼のママなのだから
パンッ
パンッ
パンッパンッ
パンッパンッ
そう自分に
いいきかせた―
翌朝―
軽く霧がかった中 朝日が昇る
夜勤明けの哲さんと合流し
農家の1日は朝の収穫から始まる
何事もなかったかのように・・
黙々と手を動かした
でも、昨夜さんざん
つっこんだチンポはジンジンして
おまんこのぬくもりが
感覚として今も残って・・
下半身がどことなくフワフワした


改めてした事の重大さに気づく
バレてないよな・・？
バレたら大変だぞ・・
ドキドキドキ
一夜限りと・・
特別甘えさせてくれた。
でもまだ・・
まだ甘えたい
甘えていたい・
ふきでる欲がしずまらない
こんな感覚になるなんて！
そう思いつつも
母に似た、その
後ろ姿を目で追ってしまう
二週間の滞在期間・・・
禁断の果実に、
溺れそうで怖いー。
to be continued




優先席
Priority Seat
















は！
は！…
は！…
は！…
びくっ
びくっ
びくっ
びくっ
あぁ
あぁ
あぁ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ



















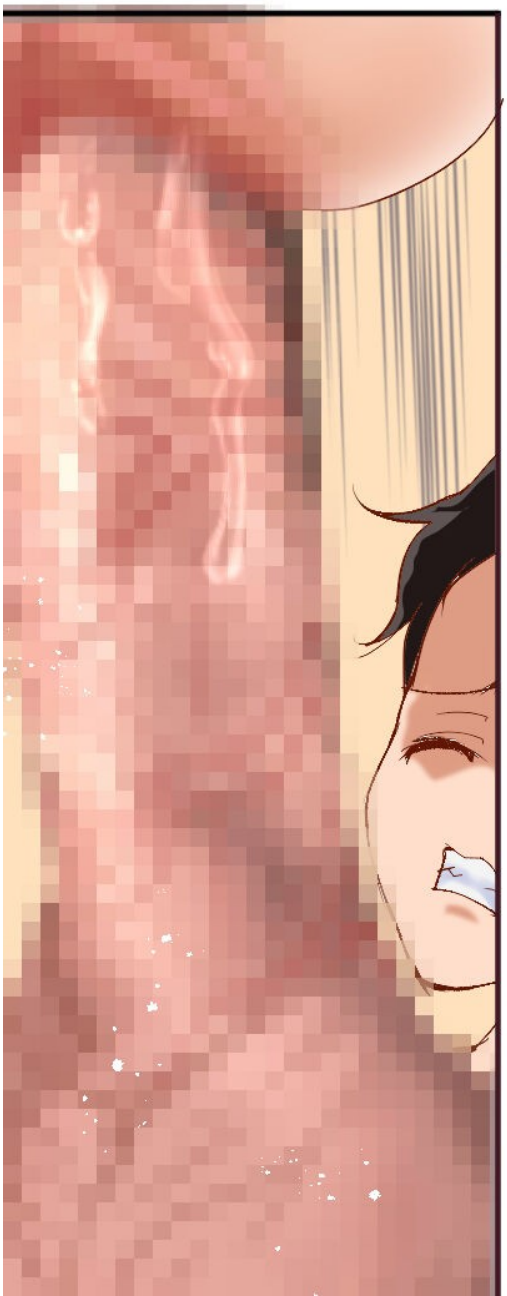







































すやすや

































